

# 一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for  
Information and Systems in Education

## ニュース・レター No.223



発行日 2019年11月30日

発行所

一般社団法人  
教育システム情報学会  
発行者 柏原 昭博

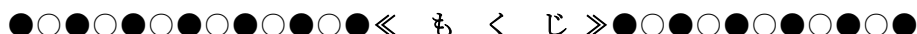
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <http://www.jsise.org>

E-MAIL [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



|                         |    |                               |
|-------------------------|----|-------------------------------|
| 第 45 回全国大会案内・・・・・・・・・・  | 2  | 本学会研究会における                    |
| 第 5 回研究会開催案内・・・・・・・・・・  | 3  | 不適切な質問等への対応について・・・・           |
| 第 6 回研究会講演募集・・・・・・・・・・  | 4  | 支部活動報告・・・・・・・・・・              |
| 特集論文研究会講演募集・・・・・・・・・・   | 6  | 学会 Twitter, Facebook のご案内・・・・ |
| LIGP2019 開催報告・・・・・・・・・・ | 7  | 他団体協賛・後援のお知らせ・・・・             |
| 第 3 回研究会開催報告・・・・・・・・・・  | 10 | 会費納入のお願い・・・・・・・・・・            |
| 第 4 回研究会開催報告・・・・・・・・・・  | 11 | 事務局より・・・・・・・・・・               |
| 学生研究発表会募集・・・・・・・・・・     | 12 | 会員専用ページの案内,                   |
| 特集号論文募集・・・・・・・・・・       | 13 | 入会のご案内,                       |
| 研究会報告年間購読・・・・・・・・・・     | 15 | 新入会員のご紹介                      |





## 第 45 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

2020 年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

|       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日：  | 2020 年 9 月 2 日（水）～ 9 月 4 日（金）                                                                  |
| 開催場所： | 広島工業大学 五日市キャンパス<br><a href="http://www.it-hiroshima.ac.jp/">http://www.it-hiroshima.ac.jp/</a> |

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

### ■ 会場外観



### ■ アクセス

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/itsukaichi/>

#### <JR・私鉄>

- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ 広電（広島電鉄）宮島線に乗り換えて「楽々園」下車 ⇒ 徒歩 15 分
- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車（約 12 分、約 900 円）
- JR 山陽本線「廿日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車（約 10 分、約 800 円）

#### <バス（広電バス）>

1. 五日市駅南口発「楽々園」経由「東観音台団地」「湯来温泉」方面行きに乗車
2. 「広島工大入口」下車
3. 徒歩 3 分



## 2019 年度 第 5 回研究会 開催案内

担当者： 三石大（東北大学）、光原弘幸（徳島大学）、高木正則（岩手県立大学）、  
鷹野孝典（神奈川工科大学）、佐々木整（拓殖大学）

下記の通り、教育システム情報学会（JSiSE）2019 年度第 5 回研究会を開催いたします。是非、みなさま奮ってご参加ください。

■ テーマ： 新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

■ 開催日： 2020 年 1 月 12 日（日）

■ 会場： 山口大学吉田キャンパス

山口市吉田 1677-1

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

■ 趣旨：

新しい技術の登場は、次世代教育・学習環境の設計・開発・実践について新しい発想を与えてくれるとともに、その実現に欠かせないものとなっています。スマートデバイスやクラウドコンピューティング、IoT、ディープラーニング、ロボット、VR・AR 技術など、多様な新技術の利用に基づく教育・学習環境の構築や授業設計がますます重要になっていくことでしょう。

本研究会では、このような新しい技術と教育情報を活用した次世代教育・学習環境について、そのための教授設計も含め、システム・基礎技術の開発、実践、ならびに、新しい教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集し、共に考える議論の場としたいと思います。

■ 参加費等：

研究会への参加は無料です。研究報告（講演論文集）は、1,000 円で当日購入できます。研究報告は電子化されており、インターネット経由でダウンロードするか、受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます。詳しくは以下のページをご覧ください。

[https://www.jsise.org/utility/information/howto\\_jrr.html](https://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html)

■ 懇親会：研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4,000 円程度を予定しています。

■ お問い合わせ先：

第 5 回研究会担当委員（代表：東北大学 三石 大）

E-mail: [jsise-sig-5th@googlegroups.com](mailto:jsise-sig-5th@googlegroups.com)（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



## 2019 年度 第 6 回研究会 講演募集

担当者： 西野和典（九州工業大学）、西端律子（畿央大学）、鷹岡亮（山口大学）、  
浅羽修丈（北九州市立大学）、永田奈央美（静岡産業大学）、  
長谷川理（武蔵野大学）、山本樹（明海大学）

■ テーマ：持続可能なプログラミング教育実践／一般

■ 開催日：2020 年 3 月 14 日（土）

■ 会場：千葉工業大学 津田沼キャンパス 7 号館（予定）

（〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1）

<https://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/>

■ 趣旨：次期学習指導要領のもとで、小学校ではプログラミング的思考を育み、中学校ではネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングについて学びます。そのうえで高等学校では、情報教育の一つの観点として基盤になる「情報の科学的理解」としてプログラミングを学びます。情報教育、とりわけプログラミング教育においても小中高の接続性が必要とされていますが、ここには依然として課題が散見され、さらに、学習方法・教材開発・教員養成についてもさらなる検討や開発が求められています。

授業の実践事例は、これまでに、情報教育やプログラミング教育を専門とする研究者や企業などの協働、先駆的な教員、IE-School・ICT-School といった推進校によって先行的に実施されています。しかし、これらが、実際の学校現場で運用され、それが、持続可能なのか、といった問題が残ります。

プログラミング教育必修化は目前にきています。これらの課題をどのように乗り越え、次世代の子どもたちの教育に資するべきかを、早期に考え、議論することは大変重要です。

そこで第 6 回研究会では、上記についての研究や議論を深めるため、「持続可能なプログラミング教育実践」に関連する研究発表を募集します。対象は、小中高に限らず、大学等で持続可能な教育実践研究や、持続を可能とするシステムなどを開発・研究されている研究発表もぜひご応募ください。また、教育の情報化に関連した研究発表や本学会の取り扱う領域における一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■ 発表申込締切：2020 年 1 月 27 日（月）

■ 原稿提出締切：2020 年 2 月 6 日（木）

- 発表申込および原稿提出は、下記 URL よりお願いします。

[https://www.jsise.org/society/committee/2019/CFP\\_6th.html](https://www.jsise.org/society/committee/2019/CFP_6th.html)

※ このページは 12 月中旬にオープンいたします。

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

研究会執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

- 発表時間は 1 件 25 分（発表 18 分，質疑 7 分）です。

- 参加費等：研究会への参加は無料です。研究報告（講演論文集）は、1,000 円で当日購入できます。

研究報告は電子化されており、インターネット経由でダウンロードするか、受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます。詳しくは以下のページをご覧ください。

[https://www.jsise.org/utility/information/howto\\_jrr.html](https://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html)

- 懇親会：研究会終了後、特集号研究会と合同で懇親会を開催する予定です。会費は 5,000 円程度の予定です。後日、第 6 回研究会 Web ページに申込方法（申込先や申込締切日等）を掲示します。

- お問い合わせ先：明海大学 山本樹（第 6 回研究会担当委員）E-mail:tatsuki\_at\_meikai.ac.jp（「\_at\_」は、半角の「@」に変更してください）



## 2019 年度 特集論文研究会 講演募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

■テーマ： SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する教育システム

■開催日時： 2020 年 3 月 14 日（土）

■会場： 千葉工業大学津田沼キャンパス  
(〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1)

■趣旨：

※本研究会は，論文特集との連動企画です．

本研究会では，社会における需要が急速に高まっている，持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）をテーマとした「SDGs に貢献する教育システム」に関する研究発表を募集いたします．2015 年 9 月に国連で採択された SDGs では，地球上に山積する様々な課題の解決が国際目標として掲げられています．SDGs は，17 の目標と 169 のターゲットから構成され，その一つには，「包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し，生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています．こうした状況において，「持続可能な開発を促進するために必要な知識・スキルの習得」のための学習環境の充実が求められています．SDGs の採択から 5 年が経過しようとしています．年限である 2030 年に向けて，近年における教育システム情報学領域における知見が共有されることによって，SDGs に貢献する教育システムの更なる発展が期待できます．

■発表申込締切： 2020 年 1 月 27 日（月）

■原稿提出締切： 2020 年 2 月 6 日（木）



## ラーニングイノベーショングランプリ 2019 開催報告

担当者： 産学連携委員会 委員長 松浦 健二

JSiSE が共催しているラーニングイノベーショングランプリ（LIGP）について、2019 年 10 月 9 日（東京ビッグサイト）に最終審査並びに表彰式が行われました。最終審査結果は、以下の通りとなりました。

### ■ 最優秀ラーニングイノベーション賞（ジンジャーアップ賞）

- ・ 答えのない Web 空間で調べ学習の評価を。

電気通信大学： 柏原研究室 Web 調べ学習チーム

### ■ 優秀ラーニングイノベーション賞

- ・ ロボットによる安心感をもって学習できる「良い雰囲気」の提供

早稲田大学： 松居研究室

- ・ 確信度フィードバックシステム：coala

大阪府立大学： OPUDFKI

### ■ 奨励賞

- ・ 先生よりも分かりやすく教えてくれる講義ロボット

電気通信大学： 柏原研究室講義ロボットチーム

- ・ スマホで見る HMD 式非同期型 VR 授業システムの開発

東京理科大学： 赤倉研究室



5 月 13 日に受付を開始し、7 月 31 日の締切りまでに 22 件の応募がありました。これらについて、産業界の 10 名の審査委員が審査を行い、各賞を選定しています。

8 月 9 日に行われた一次審査では、応募書類から特に「独創性・斬新性」に優れたチームを選び、上位 12 チームが二次審査へ選出されました。

二次審査は、5 分間のプレゼンテーション動画による発表で行われました。審査は、【1】産業界から見た独創性・斬新性（20 点満点）と【2】社会的価値（a：

教育・学習に与えるインパクト（10 点満点）、b：発想スケールの大きさ（10 点満点）、c：実用化された際の波及効果（10 点満点）の各観点で採点（50 点満点）し、9 月 18 日に上位 5 チームが最終審査へ選出されました。



最終審査は、10月9日の日経 xTECH EXP02019 展示会（東京ビッグサイト）会場で審査委員への対面プレゼンテーション形式で行われました。各チームの発表後、別室での審査委員による投票とディスカッションを経て、各賞が選定されました。結果は、ご案内の通りです。

また、同日夜の表彰式で受賞結果が発表され、審査委員長より表彰状と副賞が授与されました。

ラーニングイノベーショングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。

来年も開催いたしますので、皆さま奮ってご応募ください。

本グランプリの詳細及び各受賞者の応募内容は、<http://ligp.gingerapp.co.jp> をご覧ください

#### 【開催概要】

主催：マイクロラーニングコンソシアム（mLC）

共催：教育システム情報学会（JSiSE）、日本イーラーニングコンソシアム（eLC）

協賛（申請中）：学習分析学会、人工知能学会、電子情報通信学会教育工学研究会、日本 e-Learning 学会、日本教育工学会、日本情報科教育学会

協力：日経 BP 社、ジンジャーアップ（公式サイト）

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：アステリア、サイコム・ブレインズ、創新ラボ、デジタル・ナレッジ、ユーム

#### 【審査委員等】

<審査委員長>

杉本 隆一郎：アドビシステムズ株式会社 ※審査委員長

<審査委員>

井手 啓人：株式会社ジンジャーアップ

鎌田 純子：株式会社ボージャー

小橋 岳史：株式会社日立製作所

下山 雄大：株式会社創新ラボ

鈴木 晴之：株式会社 NHK エデュケーショナル

戸崎 聡：大日本印刷株式会社

長瀬 昭彦：株式会社 WARK

前川 英之：アルー株式会社

宮川 純治：ヤンセンファーマ株式会社

<実行委員一覧>

小林 建太郎：mLC/eLC/株式会社デジタル・ナレッジ ※実行委員長



川口 泰司 : mLC／サイコム・ブレインズ株式会社  
藤井 直人 : mLC／アカデミックパス株式会社  
前田 宏 : mLC／株式会社ジンジャーアップ  
柏原 昭博 : JSiSE／電気通信大学  
越山 修 : JSiSE／三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社  
東本 崇仁 : JSiSE／東京工芸大学  
鈴木 裕之 : 日経 BP 社



## 2019 年度 第 3 回研究会 開催報告

担当者： 安間文彦（サイバー大学），三好康夫（高知大学），小西達裕（静岡大学）

■テーマ：高等教育機関における e ラーニング実践／一般

■開催日：2019 年 9 月 20 日（金）

■会場：サイバー大学福岡キャンパス

■発表件数：7 件

■参加者数：25 名

■概要：

2019 年度第 3 回研究会は 9 月 20 日にサイバー大学福岡キャンパスにて「高等教育機関における e ラーニング実践／一般」というテーマで開催されました。本学会や関連する学会の全国大会と日程が近かった影響が心配されましたが、最終的には発表件数は 7 件で、25 名の方々にご参加いただきました。小規模な研究会となりましたが、発表後の質疑では活発な議論が行われました。

e ラーニング実践という幅広いテーマでしたので、多様な研究発表が行われました。具体的には e ラーニング科目における自主的な学修時間やオンラインテスト評点を教育の質保証のエビデンスに用いる取り組み、オンライン大学においてアセスメント・ポリシーに基づいた教育実践などの教育の質保証に関する発表、オンライン大学における e ラーニング実践の工夫や課題に関する発表、e ラーニングを活用した就職支援の実践、プログラミング学習支援など、いずれも活発な議論が行われました。今回の会場校が完全インターネットのオンライン大学であったこともあり、インターネット大学におけるさまざまなノウハウや課題などが共有され、有意義な研究会となりました。なお、第 3 回研究会で発表されたタイトルは以下の通りです。

- 教育の質保証に向けた e-Learning によるエビデンスー自主的学修時間とオンラインテスト評点
- アセスメント・ポリシーに基づく教育質保証サイクルの実践
- オンライン大学における実践的 4 技能英語教材の適用と教育的効果
- オンライン大学での就職支援科目の取り組み
- 大学院生を対象とした就職活動支援システムの開発
- バーチャルユニバーシティの初年度の運用と学習者の動向に関する一考察
- オブジェクト指向プログラミング学習のためのグラフィックスを題材とした Web 演習システムの実装



## 2019 年度 第 4 回 研究会開催報告

担当者： 小尻智子（関西大学），長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学），柏原昭博（電気通信大学），  
曾我真人（和歌山大学），松浦健二（徳島大学）

■テーマ：スキル支援のためのシステムティックな環境デザイン／一般

■開催日：2019 年 11 月 9 日（土）

■会場：関西大学千里山キャンパス第 4 学舎 4202 教室

■概要：

2019 年度第 4 回研究会は，11 月 9 日（土）に関西大学千里山キャンパスにて，「スキル支援のためのシステムティックな環境デザイン／一般」というテーマで開催されました．9 件の発表があり，関西だけではなく，関東，北陸，東海，中国などから 30 名の参加者が集まりました．

テーマである「スキル支援」に加え，「アクティブラーニング」，「振り返り支援」に焦点をあてた 3 つのセッションでの実施となりました．スパムメールを識別するためのスキルを育成するための問題の難易度の設定に関する研究や，技能伝承という文脈におけるセンサデータの与え方に関する研究，観察学習における気づきの与え方に関する研究など多様な発表があり，発表や質疑での活発な参加が見られ，初めて参加する非発表の方なども興味を持って聴講されておりました．多様な質問や意見が出て，盛会となりました．

研究ごとに焦点を当てている内容は異なるのですが，気づきの与え方，問題の難易度，データの分析手法など，多くの発表者に共通の興味が見られ，有意義な情報交換の場になったかと思います．

なお，第 4 回研究会で発表されたタイトルは，以下の通りです．

- 意思決定スキル向上のためのトレーニング課題生成
- 伝統産業の技能継承における数値データ介入の効果－京金網を例として－
- セルフアドボカシースキル支援を目的とした ICF-CY に則った個別の教育支援計画作成支援システムの開発
- フランス語 Web 教材の学習活動支援ツール－写真描写問題とアクティブラーニング－
- 概念理解の再構成を促す観察学習の検討
- アニメーションを活用した文字列検索アルゴリズム学習のための課題分析
- 高校生による主体的・協働的授業実践のリフレクション結果の検討
- 対話分析可視化ツールを活用した授業振り返り研修の実践
- 人手による採点を完全に代替する手書き入力漢字自動採点システムにおける画数フリーの実現方法



## 学生研究発表会発表募集（第2報）

担当者： 人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催する予定です。詳細未定の地区もありますが、スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております（特典内容は未定です）。

**申込み期限は1月下旬、発表原稿提出は2月初めを予定しております。**

|                 |                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催地区<br>開催都市    | 開催場所・開催日<br>実行委員長・担当窓口（連絡先）                                                                 |
| 北海道<br>千歳市内（予定） | 開催場所（調整中）・2020年3月（調整中）<br>小松川 浩（公立千歳科学技術大学）・山本裕一（北海道大学）<br>・sierra@iic.hokudai.ac.jp        |
| 北信越<br>長岡市      | アオーレ長岡（長岡駅前）・2020年3月10日（火）<br>香山 瑞恵（信州大学）・中平勝子（長岡技術科学大学）・森祥寛（金沢大学）<br>・hse-submit@jsise.org |
| 関東<br>栃木県（予定）   | 開催場所（未定）・2020年3月2,3日（合宿形式）<br>山本 樹（明海大学）・jsise-kanto-sub@jsise.org                          |
| 東海<br>未定        | 開催場所（未定）・2020年3月3日（火）<br>長谷川 信（岐阜聖徳学園大学）・m.hasegawa@gifu.shotoku.ac.jp                      |
| 関西<br>大阪市       | 関西学院大学大阪梅田キャンパス・2020年2月27日（木）<br>河野 稔（兵庫大学）・kawano@hyogo-dai.ac.jp                          |
| 中国<br>広島市       | 広島工業大学五日市キャンパス・2020年2月29日（土）（仮）<br>松本 慎平（広島工業大学）・s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp       |
| 四国<br>香川県三豊市    | 香川高等専門学校 詫間キャンパス・2020年3月8日（日）<br>米谷 雄介（香川大学）・kometani@eng.kagawa-u.ac.jp<br>※香川高等専門学校との共催   |
| 九州<br>鹿児島市      | 鹿児島大学・2020年3月7日（土）<br>石塚 丈晴（福岡工業大学短期大学部）・ishizuka@fit.ac.jp                                 |
| 沖縄<br>宜野湾市      | 沖縄国際大学・2020年2月20日（木）<br>小渡 悟（沖縄国際大学）・sodo@okiu.ac.jp                                        |

発表方法： 口頭発表またはポスター発表（ポスターは会場によっては募集しておりません）

留学生の方の発表（英語・日本語）の発表も歓迎します。

発表資格： 大学院生，大学生・短大生，高専生，専門学校生，高校生の他，社会人学生も可能です。

※いずれもJSiSE正会員である推薦人（指導教員または関係者）の推薦が必要です。

発表場所（地区）：自分の所属する大学等の場所と一致していなくてもOKです。



## 2020 年度 特集号論文募集

学会誌編集委員会委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

「SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する教育システム」

論文投稿締切：2020 年 6 月初旬（予定）

2021 年 4 月 1 日 発行（予定）

本特集号では、社会における需要が急速に高まっている、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）をテーマとした「SDGs に貢献する教育システム」に関する論文を募集いたします。2015 年 9 月に国連で採択された SDGs では、地球上に山積する様々な課題の解決が国際目標として掲げられています。SDGs は、17 の目標と 169 のターゲットから構成され、その一つには、「包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています。こうした状況において、「持続可能な開発を促進するために必要な知識・スキルの習得」のための学習環境の充実が求められています。SDGs の採択から 5 年が経過しようとしています。年限である 2030 年に向けて、近年における教育システム情報学領域における知見が共有されることによって、SDGs に貢献する教育システムの更なる発展が期待できます。

### 1. 対象分野

SDGs それ自体を対象とする教育システムに関する論文、ならびに、教育の質保証、健康・福祉教育、消費者教育、技術者教育、人権・ジェンダー教育、自然・環境・エネルギー教育、防災教育、平和教育、生涯学習など、持続可能な世界を実現するための 17 ゴール 169 ターゲットを対象とした教育システムに関する論文を広く募集いたします。

### 2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。

また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

### 3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会(2020 年 3 月中旬開催予定)で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。＜英文誌ホームページ：[http://www.jsise.org/journal/journal\\_en.html](http://www.jsise.org/journal/journal_en.html)＞

#### 4. スケジュール

論文投稿締切： 2020年6月初旬（予定）  
 採録通知予定： 2020年11月初旬頃（予定）  
 学会誌 掲載： 学会誌Vol. 38, No. 2, 2021年4月1日発行（予定）

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。詳細は開催案内をご覧ください。

特集論文研究会： 2020年3月14日（土）  
 会 場： 千葉工業大学津田沼キャンパス（〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1）  
 発表申込 締切： 2020年1月27日（月）  
 原稿提出 締切： 2020年2月6日（木）

#### 5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田和久（大阪府立大学）  
 副委員長： 村上正行（大阪大学）  
 幹 事： 松田憲幸（和歌山大学），後藤田中（香川大学），田中孝治（金沢工業大学）  
 幹事補佐： 近藤伸彦（首都大学東京），山元翔（近畿大学）  
 委 員： 学会誌編集委員，特集号編集委員

#### 6. 問い合わせ

全 般： 田中孝治（金沢工業大学）  
 E-mail: [kjtanaka@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:kjtanaka@neptune.kanazawa-it.ac.jp)  
 Web投稿： 編集事務局  
 電話： 03-5389-6492  
 E-mail: [jsise-edit@bunken.co.jp](mailto:jsise-edit@bunken.co.jp)  
 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



## 研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回, 特集研究会 1 回, 計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。 すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望  
会員番号 (お分かりであれば) :  
お名前 :  
所属 :  
連絡先 e メールアドレス :  
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。





## 教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

## 東海支部より活動報告

担当者： 津森伸一（聖隷クリストファー大学）、長谷川 信（岐阜聖徳学園大学）、  
伊藤 敏（岐阜聖徳学園大学）、山住富也（名古屋文理大学）

以下の要領で、教育システム情報学会東海支部研究会を開催致します。  
多数の皆様のご出席をお願い致します。

1. 日時： 2019 年 12 月 14 日(土) 13:00～17:00
2. 場所： 名古屋都市センター14F 第3会議室  
(名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル内)  
※アクセス方法は <http://www.nup.or.jp/nui/access/index.html> をご参照下さい
3. プログラム：  
【研究会】（※タイトルや内容は今後変わることがあります）  
主催：教育システム情報学会東海支部  
座長：津森 伸一（聖隷クリストファー大学）

[受付] 13:00 より 受付開始

[ライトニングトークセッション] 13:20～14:40

- (1) "Developing Students' 21st Century Competencies"  
Chan See Mun, Alison 氏（愛知教育大，文科省教員研修留学生）
- (2) "The relationship between pre-education and children's  
social and cognitive skills"  
Aldagig Ahmed 氏（愛知教育大，文科省教員研修留学生）
- (3) "Needs of Boosting the Teaching and Learning of English  
as a Second Language through the Use of ICT"  
Aboki Francis 氏（愛知教育大，文科省教員研修留学生）
- (4) "非漢字圏の留学生を対象とする漢字の学習"  
張春華 氏（愛知教育大大学院修士2年）
- (5) "フローチャートとScratchを利用したプログラミング授業方法の提案"  
胡石帆 氏（愛知教育大大学院修士2年）

[一般セッション] 14:50～15:50

- (1) "アマチュア無線を用いた大規模災害時における非常通信ネットワーク"  
若月 徹 先生（藤田医科大学）

[企業セッション] 15:50～16:50

(1) “視聴覚教育と教室設備”

渡辺 将仁 氏（電子システム株式会社）

【役員会】（※支部役員は役員会にご参加願います）

13:00～13:15 東海支部「役員会」

【懇親会】

17:30 頃より金山駅付近で行います（参加費 4～5 千円程度の予定）. 是非, ご参加ください.

【後援（予定）】

本研究会は, 日本リメディアル教育学会東海・北陸支部の後援（予定）です.

## 北 信 越 支 部 よ り 活 動 報 告

### 北信越支部主催ワークショップ「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

担当者： 香山瑞恵（信州大学）、森 祥寛（金沢大学）

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去の3回のワークショップでは参加者より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部のWebサイトやFacebookにてご覧いただけます。また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採録2本、国際コンペ表彰1名、学位取得4名など、それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催します。なお、本ワークショップは、全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。

昨年度は、残念ながら発表者がおりませんでした、「成果発表を磨く」実践的な機会であり、研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。併せて、学生研究発表会もありますので、学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

また、前日9日（月）には大学eラーニング協議会の総会・フォーラム（<https://www.uela.cloud/>）が、当日は日本リメディアル教育学会 ICT活用教育部会の研究会（<http://www.jade-web.org/>）が同会場にて開催されています。大学教育にeラーニングを導入している先進校の取組や、大学で実施されているリメディアル教育の最新研究について知ることができますので、是非、こちらへの参加も検討してみてください。

#### ○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2020年3月10日（火）午後

開催場所：シティホールプラザ アオーレ長岡（予定 新潟県長岡市 JR長岡駅徒歩3分）

話題提供・討論概要：

申込者には、1件あたり50分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE学生会員またはJSiSE会員に指導を受ける者

申込方法・〆切：2月9日（日） ※定員になり次第締め切ります。

申込み、お問い合わせ先：北信越支部研究会担当 [hse-submit@jsise.org](mailto:hse-submit@jsise.org)

※ 話題提供のタイトル、氏名、連絡先、指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：<http://www.jsise.org/~hse/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse>

## 北信越支部学生セッション 開催報告

担当者： 中平勝子（長岡技術科学大学）

去る 9 月 28 日（土）に，2019 年度電子情報通信学会信越支部大会と協賛する形で教育システム情報学会北信越支部学生セッションを開催しました。学習者の好みを反映した 3D アバターを用いた教材評価や，アクティブラーニング評価への応用へ向けた音響特徴量による討論場の雰囲気推定といった，ホットトピックな研究テーマでの発表でした。セッション参加者は 10 名ほどで，活発な議論が行われました。

## 関東支部より活動報告

### 第2回リサーチ・コ・コ・コモンズ開催報告

担当者： 教育システム情報学会関東支部

教育システム情報学会関東支部では昨年度に引き続き、連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を、11月9日（土）に早稲田大学早稲田キャンパスにて実施致しました。第2回の今回は学生を対象に「自身の研究の魅力を再発見すること」をテーマとして開催し、関東・東北地区から24名（教職員10名・学生14名）が参加されました。

冒頭に関東支部の支部長の早稲田大学松居先生より趣旨説明があり、その後、2部構成で実施しました。第1部では電気通信大学 柏原研究室のレクロボを登壇者として、教育システム情報学研究の面白さについて講演して頂きました。教育システム情報学分野の研究成果であるレクロボが自らその研究の面白さについて、また自らを生んだ研究の枠組みについて、愛嬌のある声と動作を交えて語るといふ、大変興味深い講演となりました。



第2部では「魅力 Aware / Share / Deeper セッション」と題して、参加学生による2セッション合計13件の研究紹介と、それぞれの研究の良い点、発表者本人も気付かないと思われる発展や応用の方向性について、積極的な議論がなされました。通常の研究会とは異なる「褒めて（研究を）伸ばす」、「褒めて（自分自身が）伸びる」というコンセプトの下での議論に、参加者一同が苦戦しつつも、ポジティブな雰囲気の中セッションが進行しました。





今回、ご発表及びご参加頂きました皆さまには厚く御礼申し上げます。

今後、関東支部では、学生の育成および教育実践の現場との連携を視野に入れた学術イベントの企画実施を進めて行きたいと考えております。



第1部 講演「教育システム情報学研究の面白さ」

講演者：レクロボ (Lectured by Akihiro Kashihara)

第2部 魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究プレゼンテーションの診断に基づくセルフレビュー支援

瀬谷遼太郎 (電気通信大学大学院)

EBS とマイクロワールドグラフによる問題の行き詰まり解決支援システム

相川野々香 (東京工芸大学)

メタ記憶モニタリングによる納得感の創発モデリング

柳澤寛光 (早稲田大学大学院)

研究活動支援システムにおける動機づけ向上機能の開発と評価

佐藤弘章 (千葉工業大学大学院)

対人英語コミュニケーションを可能とするパートナーロボットのデザイン

内村圭佑 (電気通信大学)

神経活動同期性に基づく教授学習過程における道德観の伝達感評価尺度の構築

下田 香織 (早稲田大学)

シェアリングエコノミーのビジネスモデルを主題とした学習手法

長嶋啓太 (千葉工業大学大学院)

非言語情報を伴うロボットによる安心感をもって学習できる良い雰囲気の提供

志村友 (早稲田大学)

異なる多様性をもつ他者の考えが自己省察の過程に及ぼす影響

荒井武蔵 (千葉工業大学)

時系列情報を考慮したオンデマンド授業視聴時の学習者の心的状態推定モデルの作成とモデルへの解釈の試み

古澤嘉久 (早稲田大学大学院)

スポーツ初心者のためのプレー理解を促すビデオアノテーション手法の提案

廣瀬はるか (電気通信大学)

熟達教師による個別授業内 Pedagogical Chat の類型化と授業設計支援の試み

三田伴樹 (早稲田大学)

不登校児童生徒の学校復帰に関する研究

嵩下里菜 (拓殖大学)





## Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

<https://twitter.com/JsisePr>

✧ 2019 年 11 月 22 日現在，フォロワー数 222 アカウント



## Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

✧ 2019 年 11 月 22 日現在，いいね 373 件，404 人フォロー





## 他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

- 2019 年 12 月開催
  - 協賛「JMeL 14th : 医療系 e ラーニング全国交流会」
    - 日時 : 2019 年 12 月 21 日(土) ~ 22 日(日)
    - 会場 : 広島市, 広島大学広仁会館
    - URL : <https://jmel.jp/>
    - テーマ : ICT 活用教育の高度化と牽引



## 会費納入のお願い

2019 年度会費未納の方には、8 月 30 日に会費納入のお願いをメールでお送りいたしましたので、納入をお願いします。過年度年会費未納の方はそちらも合わせてお願いします。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

### ■振込先

#### ◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード： 9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別： 当座 口座番号： 0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

#### ◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード： 0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

#### ◆みずほ銀行（金融機関コード： 0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別： 普通 口座番号： 1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。  
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

## 【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター  
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



## 事務局より



### 会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

### ☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料**にさせて頂くというキャンペーンを行っております。  
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



## 新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2019 年 9 月 20 日～2019 年 11 月 19 日）

| 会員名   | 会員種別    | 会員名    | 会員種別    |
|-------|---------|--------|---------|
| 伊藤 鐘史 | 正会員     | 島崎 俊介  | 正会員（購読） |
| 吉田 文子 | 正会員（購読） | 二本柳 圭  | 正会員     |
| 平井 和明 | 正会員     | 阿知波 康祐 | 学生会員    |

（計 6 名）